

論系だより

【二〇二二年度 論系体制】

早稲田大学文化構想学部多元文化論系では、一九名の専任教員が、英語圏文化／ヨーロッパ文化／アジア文化／中東・イスラーム文化／Global Studies in Japanese Cultures Program（国際日本文化論プログラム、略称[CuP]）という五つのプログラム体制のもと、授業を行った。

本年度開講された一八のゼミは、異文化受容論／アメリカ文化論／グローバルゼーション・文化・英語教育／イギリス・アイルランド・英連邦諸国／地中海文化論／ヨーロッパ文化論／ユーラシア文化論／日本文化史／東アジアの生命観と倫理／漢字・漢文化／現代中国文化論／思想文化論／古典中国／中東・イスラーム文化論／Seminar on Global Japanese Culture and Media I／Seminar on Global Japanese Culture and Media II／Seminar on Global Japanese Culture and Media III／Seminar on Global Japanese Culture and Media IVである。

二〇二二年九月より、論系運営主任が井上文則教授から垣内景子教授に交代した。

二〇二三年三月をもって、安藤文人教授が退任される。

【二〇二二年度 活動報告】

・ニューズレター発行

『多元文化論系ニューズレター』第七号が、二〇二二年六月に発行された。論系所属の教員・学生（CuP現役学生と卒業生）

論系だより

によるエッセイ、論系の情報等が掲載されている（一〇四頁参照）。

・論系行事

コロナ禍により、前年度に引き続き今年度も、二年生向けの論系ゼミ・卒業研究ガイダンス（九月）をはじめ、文化構想学部一年生向けの論系進級ガイダンス（七月・十一月）などの論系行事がオンラインで行われた。なお、二年生を二〇名規模のクラスに分け、担任（井上、伊川、垣内、中澤〔春〕・ホサイン〔秋〕、小田田）のもと、数回のクラス・ミーティングを対面で行った。

【論系室より】

二〇二二年四月に藤本庸裕助手が博士号取得により助教に昇任した。

また、二〇二三年三月をもって、小二田章講師（任期付）、藤本庸裕助教、金孝珍助手が退任される。小二田講師は三年間にわたり、講義・演習・卒業研究を通して多くの学生を教育されつつ、多元文化学会と論系の行事にも精力的に取り組まれた。藤本庸裕助教は二年間、誠実な姿勢で円滑な論系室運営に尽力された。金孝珍助手は、二年間にわたり、明朗な態度で、学生対応や教員サポートに貢献された。新型コロナウイルスの影響で様々な制約がある中でも、論系および学会運営に柔軟に対応してくださったお三方には、この場を借りて厚くお礼申し上げたい。

多元文化論系ニューズレター 第7号 (2022年春)

〈教員エッセイ〉

わたしの研究

渡邊 義浩

The World From My Window
Special Collaboration with Waseda University

Hitomi Yoshio
(featuring JCulP
students & alumni)

◇論系室から

金 孝珍

藤本 庸裕